

【第16回みちのくカップフットサル大会U-10の部】御礼

2021年2月20日（土）、標記の大会を無事開催&終了することが出来ました。本来であれば2月7日（日）に開催する予定でしたが、新型コロナの影響により首都圏に昨年4月以来2度目の緊急事態宣言が发出され（1月7日～2月7日迄）それを受けて福島県でも同期間独自の宣言が发出され、対外試合等々が出来なくなり、それに併せて2月7日の大会開催を断念せざるを得なくなりました。このまま中止か？それとも延期して開催するか？色々悩みましたが、福島県独自の宣言が2月14日（日）に解除されたことに伴い（2月7日で解除されずに1週間後に正式に解除されました）延期日として設定した2月20日（土）に開催した！そして、無事終了することが出来た！そう言うことです。

そのような中で開催した大会にご尽力頂いた皆様に簡単ではありますが御礼を申し上げたいと思います。

まずは・・・ **ご参加頂いたチームの皆様へ**

宣言は解除されたものの、コロナが収束したわけではなく、そのような中で大会を開催するため、コロナ感染防止対策を万全に講じること！主催者としてはこれは必須事項でした。参加チームを福島県内のみに限定して開催したこともそのひとつでありました。そのような趣旨をご理解頂き、県内各地より（会津若松市・福島市・郡山市・須賀川市・棚倉町・石川町・白河市）ご参集頂きました各チームの選手・指導者・関係者の皆様には改めて心より御礼申し上げる次第です！来場者の検温&報告&それらを記載した参加者名簿の提出はじめ様々な対策にご協力頂きました。特に今大会は屋内（体育館）での開催と言うことで、体育館入館者を選手並びに指導者のみとさせて頂きました。我慢を強いられた保護者の方々は子供たちの大会時の様子を直接見たかった！そう思っていたのは想像に難くありません。そのことに関して本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。ただしそのお詫び！？として今回YouTubeを利用してライブ配信をさせて頂きました。もちろん直接その目でご覧頂くことと比して満足いくものではなかったかとは思いますが、それでも少しは大会での子供たちの様子が伝わったのではと勝手にそう思っております。如何でしたでしょうか。ただし、A・Bコートの配信のうち、Bコートの配信画像に乱れが多く視聴されていた皆様には満足いくものではなかったかと思えます。大変申し訳ございませんでした。とにもかくにも参加全チームの関係者全ての皆様のご協力により無事大会を開催&終了出来ましたことに對して改めて御礼申し上げます。大いなる感謝の気持ちをこめて・・・

ありがとうございました！

（大会は無事終わることが出来ましたが、コロナ潜伏感染発症期間は約2週間と言われておりますので、2週間後の3月上旬頃<3月5日（金）を予定>にチームの状況（参加者の様子）をお聞きすべくご連絡させていただきます。予めご了承下さい。）

次に・・・ **クラブ関係者の皆様へ**

クラブ主催の大会と言うことで、毎度のことながら、当日早朝よりの会場準備、大会運営、後片づけ、子供たちの応援等々、並々ならぬご尽力を頂きましたクラブ保護者の皆様に対し厚く厚く御礼を申し上げます。「皆様の御尽力無くしてクラブ主催の大会を行うことなど決して出来ない！」毎度のことですがその思いでいっぱいです。ただし、今回は前述したように、コロナ禍、そして、屋内での大会と言うことで、人数を3名と制限させて頂きました。「お手伝いしたかった！」そう思われた方が多数いたかと思えます。大変申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、こう言う状況なので仕方なし！そうご理解頂けたと思っております。きっとライブ配信映像の前で、声を限りに子供たちに声援を送って頂いていた！本気でそう思っています。そのおかげで・・・深礼 今回のみならずこのような形でのご協力依頼が残念ながら当分の間続くかと思えますが、趣旨をご理解頂きご協力のほど宜しくお願い申し上げます。当日ご協力頂いた3名の皆様、そして、思いを届けて下さった皆様に対し・・・

ありがとうございました！

手前味噌となりますが・・・保護者のご協力を限定した中で今大会が無事開催することが出来た大きな大きな要因は6年生12名全員の力の結集があったればこそ！そう思っています。後輩の指導はもとより終日大会運営に寄与してくれたこと、さすがホワイトリバーのリーダー達！ホワイトリバーの顔！！ホワイトリバーの・・・！！ みんなの働きぶりを見ていて感心しきりでした。きっとその姿は、後輩達に、いや、来場された全ての人たちにしっかり伝わった！そう確信しています。サッカー及びその他様々な活動を通して心身共に健やかに成長していることを心の底から感じる事が出来ました。

6年生のみんなへありがとう！

一日も早く新型コロナウイルスの感染が終息をすることを願ってはおりますが、それにはまだまだ膨大な時間を要する気がします。ですので、我がクラブとしては、【WITHコロナ】を念頭に置き、今後も出来る限りの感染防止対策を万全に講じながら、確固たる活動方針である「21世紀を担う子供たちが心身共に健やかに成長するよう全力でサポートする」を実現すべく様々なイベントを企画・実施していきます。クラブ活動の趣旨をご理解され、今後もたくさんの方々にはバックアップして頂き、そして、たくさんの方々に参加してほしいと心より切に願う次第です。どうぞ、よろしくお願い致します。

第17回大会は2022年2月上旬頃に行う予定です。その時までには、日本が、世界が、今よりももっともっと過ごし易い状況になっていること、つまり、新型コロナウイルス感染が今よりも激減し更には収束していることをただただ願うのみです。

以上、簡単ではありますが、今大会開催に際し、お世話になった方々への御礼とさせて頂きます。皆様、本当にお世話になりました。最大の敬意を込めて・・・

ありがとうございました！！！！

主催者より

『第16回みちのくカップフットサル大会U-10の部』

【予選リーグ結果】

【Aブロック】

	ホワかざ	棚 倉	レッド	桑 野	サントス	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
ホワかざ		5-1	3-0	0-1	0-7	2	2	0	6	8	9	-1	3
棚 倉	1-5		3-6	0-3	0-11	0	4	0	0	4	25	-21	5
レッド	0-3	6-3		1-1	0-4	1	2	1	4	7	11	-4	4
桑 野	1-0	3-0	1-1		0-6	2	1	1	7	5	7	-2	2
サントス	7-0	11-0	4-0	6-0		4	0	0	12	28	0	28	1

【Bブロック】

	レガッテ	近 津	ホワしげ	グリーン	モンタ	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
レガッテ		4-0	11-0	4-4	2-1	3	0	1	10	21	5	16	1
近 津	0-4		2-2	0-5	6-3	1	2	1	4	8	14	-6	3
ホワしげ	0-11	2-2		0-7	0-6	0	3	1	1	2	26	-24	5
グリーン	4-4	5-0	7-0		5-1	3	0	1	10	21	5	16	2
モンタ	1-2	3-6	6-0	1-5		1	3	0	3	11	13	-2	4

☆Bブロックの[レガッテ]と[ブリーオグリーン]は勝点・得失点・総得点・同対戦の勝敗が全て同じであったため、本来であれば大会規定により抽選を行い順位を決する予定でしたが、両チームの話し合いにより、3人制（3人で決まらない場合はサドンデス）によるPK戦を行い4対3でレガッテが勝利し上記の順位となりました。

【順位別戦結果】

1~2位決定戦 会津サントス vs FC Regate (Aブロック1位) (Bブロック1位) 2 : 4	3~4位決定戦 桑 野 vs ブリーオ須賀川グリーン (Aブロック2位) (Bブロック2位) 1 : 3
5~6位決定戦 ホワイトリバーかざ vs 近 津 (Aブロック3位) (Bブロック3位) 3 : 2	7~8位決定戦 ブリーオ須賀川レッド vs モンターニャ (Aブロック3位) (Bブロック3位) 試合は2 : 2 PK 2 : 3
9~10位決定戦 棚 倉 vs ホワイトリバーしげ (Aブロック5位) (Bブロック5位) 3 : 2	

☆1~2決定戦の[会津サントス]vs[レガッテ]は15分間1本試合で2対2で同点であったため本来であれば大会規定により3人制によるPK戦を行い順位を決する予定でしたが、両チームの話し合いにより5分間の延長戦を行うことになり、延長戦で2点を獲ったレガッテが4対2で勝利しました。

【チーム成績表】

順位	チーム名	所在地
優勝	FC Regate	石川町
準優勝	会津サントスU-10	会津若松市
第3位	FCブリーオ須賀川Green	須賀川市
第4位	桑野サッカースポーツ少年団	郡山市
第5位	ホワイトリバーかざ	白河市
第6位	近津サッカースポーツ少年団	棚倉町
第7位	FCブリーオ須賀川Red	須賀川市
第8位	モンターニャFC	福島市
第9位	棚倉FC	棚倉町
第10位	ホワイトリバーしげ	白河市

【優秀選手賞】

選手氏名	チーム名	選手氏名	チーム名
鈴木 虎大朗	ホワイトかざ	小山田 拓実	棚倉
小田 豪希	ブリーオ須賀川レッド	佐久間 郁弥	桑野
益子 琉斗	会津サントスU-10	高根 蒼介	レガッテ
下重 春姫	近津	高木 侑河	ホワイトしげ
田村 昊千	ブリーオ須賀川グリーン	本田 光惺	モンターニャ